

2024年9月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年10月30日

上場会社名 株式会社サイバーエージェント 上場取引所 東
 コード番号 4751 URL <https://www.cyberagent.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 代表執行役員 社長 (氏名) 藤田 晋
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 専務執行役員 (氏名) 中山 豪 (TEL) 03-5459-0202
 定時株主総会開催予定日 2024年12月13日 配当支払開始予定日 2024年12月16日
 有価証券報告書提出予定日 2024年12月13日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (動画配信のみ)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期の連結業績 (2023年10月1日～2024年9月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		包括利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期	802,996	11.5	41,843	70.4	41,475	66.5	16,246	204.7	26,070	105.5
2023年9月期	720,207	1.4	24,557	△64.5	24,915	△64.1	5,332	△78.0	12,687	△64.7

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年9月期	32.09	29.48	10.7	8.3	5.2
2023年9月期	10.53	9.60	3.7	5.8	3.4

(参考) 持分法投資損益 2024年9月期 △251百万円 2023年9月期 △91百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2024年9月期	520,417	254,235	159,365	30.6	314.73
2023年9月期	477,826	231,911	144,422	30.2	285.31

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年9月期	53,231	△38,331	△5,195	211,135
2023年9月期	20,822	△40,290	53,491	201,780

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年9月期	—	0.00	—	15.00	15.00	7,592	142.5	5.3
2024年9月期	—	0.00	—	16.00	16.00	8,101	49.9	5.3
2025年9月期(予想)	—	—	—	17.00	17.00	—	—	—

3. 2025年9月期の連結業績予想 (2024年10月1日～2025年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	820,000	2.1	42,000	0.4	42,000	1.3	21,000	29.3	41.47

(注) 詳細は、3ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年9月期	506,344,400株	2023年9月期	506,191,200株
② 期末自己株式数	2024年9月期	1,098株	2023年9月期	1,040株
③ 期中平均株式数	2024年9月期	506,261,873株	2023年9月期	506,048,563株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年9月期の個別業績(2023年10月1日~2024年9月30日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期	435,124	8.0	5,665	17.9	12,553	30.0	10,544	44.6
2023年9月期	403,045	11.0	4,806	△60.3	9,658	△33.4	7,292	△27.2
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2024年9月期	20.82		19.08					
2023年9月期	14.41		13.23					

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2024年9月期	213,799	47,220	44,643	20.9	88.16
2023年9月期	197,808	37,536	35,498	17.9	70.12

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(表示方法の変更)	11
(連結損益計算書関係)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社グループは、インターネット広告市場やゲーム市場の成長を取り込みつつ、中長期の柱にすべくテレビのイノベーションをコンセプトに、いつでもどこでも繋がる社会インフラを目指す新しい未来のテレビ「ABEMA」への投資を継続し、当連結会計年度における売上高は802,996百万円（前年同期比11.5%増）、営業利益は41,843百万円（前年同期比70.4%増）、経常利益は41,475百万円（前年同期比66.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は16,246百万円（前年同期比204.7%増）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

①メディア事業

メディア事業には、「ABEMA」、「WINTICKET」等が属しております。

新しい未来のテレビ「ABEMA」関連事業が好調に増収し、売上高は170,849百万円（前年同期比21.0%増）、営業損益は1,927百万円の損失計上（前年同期間11,523百万円の損失計上）となりました。

②インターネット広告事業

インターネット広告事業には、インターネット広告事業本部、AI事業本部等が属しております。

インターネット広告市場成長率※以上の増収率を継続しシェア拡大につなげ、売上高は436,372百万円（前年同期比7.6%増）、AI等の活用により生産性が向上し、営業損益は22,217百万円の利益計上（前年同期比21.3%増）となりました。

※市場成長率：2024年度前年比5.9%増の予想

日経広告研究所「2024年度の広告費予測（2024年7月公表）」より

③ゲーム事業

ゲーム事業には、(株)Cygames、(株)Colorful Palette、(株)QualiArts、(株)サムザップ、(株)アプリボット等が属しております。

新規タイトルのヒットと既存タイトルの運用強化により、売上高は195,985百万円（前年同期比9.4%増）、営業損益は30,569百万円の利益計上（前年同期比34.6%増）となりました。

④投資育成事業

投資育成事業にはコーポレートベンチャーキャピタル、(株)サイバーエージェント・キャピタルにおけるファンド運営等が属しており、売上高は6,342百万円（前年同期比98.3%増）、営業損益は426百万円の利益計上（前年同期比76.8%減）となりました。

⑤その他事業

その他事業には、(株)マクアケ、(株)リアルゲイト等が属しており、売上高は30,934百万円（前年同期比6.8%増）、営業損益は478百万円の利益計上（前年同期比33.6%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は520,417百万円（前連結会計年度末比42,590百万円の増加）となりました。これは、主に売上高の増加に伴う現金及び預金の増加によるものであります。

負債は266,181百万円（前連結会計年度末比20,266百万円の増加）となりました。これは、主に売上高の増加に伴う未払法人税等の増加によるものであります。

純資産は254,235百万円（前連結会計年度末比22,324百万円の増加）となりました。これは、主に親会社株主に帰属する当期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べて9,354百万円増加し、211,135百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは53,231百万円の増加（前年同期間は20,822百万円の増加）となりました。これは、主に利益の計上及び法人税等の支払によるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは38,331百万円の減少（前年同期間は40,290百万円の減少）となりました。これは、主に固定資産の取得及び子会社株式の取得によるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは5,195百万円の減少（前年同期間は53,491百万円の増加）となりました。これは、主に配当金の支払によるものであります。

(4) 今後の見通し

2025年9月期の業績予想につきましては、広告事業とメディア事業が増収を牽引し、連結売上高前期比2.1%増の8,200億円と想定。連結営業利益につきましては、2024年9月期に計上したコンソールゲーム等の一過性の収益を吸収し、前期比0.4%増の420億円としております。メディア事業での通期黒字転換及び利益貢献、広告事業は増収に伴う増益を予想し、ゲーム事業においては、継続的な新規タイトルの提供と既存タイトルの長寿命化を目指していきます。それに伴い連結経常利益においても420億円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比29.3%増の210億円といたしました。

また、当社は株主のみなさまに対する利益還元を経営の重要課題と認識しており、事業の成長、資本効率の改善等による中長期的な株式価値の向上とともに、配当を継続的に実施していきたいと考えております。

2025年9月期の期末配当予想は、2017年9月期に定めた経営指標「DOE 5%以上」に則り、17円といたしました。

なお、本件につきましては、2025年12月開催予定の第28回定時株主総会に付議する予定です。

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づいており、実際の業績等は様々な不確定要素により大きく異なる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当連結会計年度 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	199,579	210,041
受取手形、売掛金及び契約資産	83,372	85,261
棚卸資産	8,977	11,594
営業投資有価証券	19,034	18,206
その他	40,768	37,624
貸倒引当金	△489	△363
流動資産合計	351,242	362,363
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,250	12,697
工具、器具及び備品(純額)	8,358	8,334
土地	3,505	5,682
その他	472	563
有形固定資産合計	24,586	27,278
無形固定資産		
のれん	7,084	14,778
ソフトウェア	6,053	5,000
ソフトウェア仮勘定	16,313	20,543
その他	4,106	8,975
無形固定資産合計	33,557	49,297
投資その他の資産		
投資有価証券	36,749	43,467
長期貸付金	108	863
繰延税金資産	7,540	9,332
その他	24,053	28,456
貸倒引当金	△77	△691
投資その他の資産合計	68,375	81,428
固定資産合計	126,519	158,005
繰延資産	64	48
資産合計	477,826	520,417

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当連結会計年度 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	71,597	74,235
未払金	20,682	23,503
短期借入金	3,142	600
未払法人税等	3,115	9,709
1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債	—	20,016
その他	34,824	40,160
流動負債合計	133,362	168,226
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	60,584	40,439
長期借入金	43,355	45,722
勤続慰労引当金	3,401	3,452
資産除去債務	2,406	2,626
繰延税金負債	1,040	2,802
その他	1,763	2,911
固定負債合計	112,552	97,955
負債合計	245,915	266,181
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,369	7,440
資本剰余金	12,218	12,296
利益剰余金	117,448	126,435
自己株式	△1	△1
株主資本合計	137,034	146,170
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,196	12,917
為替換算調整勘定	191	277
その他の包括利益累計額合計	7,388	13,194
新株予約権	2,092	2,644
非支配株主持分	85,396	92,226
純資産合計	231,911	254,235
負債純資産合計	477,826	520,417

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
売上高	720,207	802,996
売上原価	527,802	582,472
売上総利益	192,404	220,524
販売費及び一般管理費	167,847	178,680
営業利益	24,557	41,843
営業外収益		
受取利息	189	369
受取配当金	374	381
受取賃貸料	525	623
その他	175	378
営業外収益合計	1,263	1,753
営業外費用		
支払利息	127	245
持分法による投資損失	91	251
為替差損	191	474
貸倒引当金繰入額	—	599
その他	494	550
営業外費用合計	904	2,121
経常利益	24,915	41,475
特別利益		
投資有価証券売却益	—	71
事業譲渡益	100	117
その他	1,370	124
特別利益合計	1,470	313
特別損失		
減損損失	1,453	5,602
事業撤退損	55	1,758
その他	* 2,345	* 3,603
特別損失合計	3,854	10,963
税金等調整前当期純利益	22,532	30,825
法人税、住民税及び事業税	12,006	14,398
法人税等調整額	△417	△4,218
法人税等合計	11,588	10,179
当期純利益	10,943	20,645
非支配株主に帰属する当期純利益	5,611	4,398
親会社株主に帰属する当期純利益	5,332	16,246

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
当期純利益	10,943	20,645
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,829	5,383
為替換算調整勘定	50	56
持分法適用会社に対する持分相当額	△136	△14
その他の包括利益合計	1,743	5,425
包括利益	12,687	26,070
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	6,534	22,053
非支配株主に係る包括利益	6,152	4,017

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	7,239	11,636	119,204	△1	138,079
当期変動額					
新株の発行(新株予約権の行使)	130	130			260
剰余金の配当			△7,082		△7,082
自己株式の取得				△0	△0
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		451			451
連結範囲の変動			△5		△5
親会社株主に帰属する当期純利益			5,332		5,332
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	130	581	△1,756	△0	△1,044
当期末残高	7,369	12,218	117,448	△1	137,034

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	5,887	298	6,185	1,747	76,903	222,915
当期変動額						
新株の発行(新株予約権の行使)						260
剰余金の配当						△7,082
自己株式の取得						△0
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動						451
連結範囲の変動						△5
親会社株主に帰属する当期純利益						5,332
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	1,308	△106	1,202	345	8,492	10,040
当期変動額合計	1,308	△106	1,202	345	8,492	8,996
当期末残高	7,196	191	7,388	2,092	85,396	231,911

当連結会計年度(自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	7,369	12,218	117,448	△1	137,034
当期変動額					
新株の発行(新株予約権の行使)	70	70			141
剰余金の配当			△7,592		△7,592
自己株式の取得				△0	△0
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		7			7
連結範囲の変動			333		333
親会社株主に帰属する当期純利益			16,246		16,246
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	70	78	8,987	△0	9,136
当期末残高	7,440	12,296	126,435	△1	146,170

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	7,196	191	7,388	2,092	85,396	231,911
当期変動額						
新株の発行(新株予約権の行使)						141
剰余金の配当						△7,592
自己株式の取得						△0
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動						7
連結範囲の変動						333
親会社株主に帰属する当期純利益						16,246
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	5,720	85	5,806	551	6,829	13,187
当期変動額合計	5,720	85	5,806	551	6,829	22,324
当期末残高	12,917	277	13,194	2,644	92,226	254,235

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	22,532	30,825
減価償却費	8,104	10,436
減損損失	1,453	5,602
事業撤退損	55	1,758
営業投資有価証券の増減額 (△は増加)	△2,570	3,160
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	△10,500	△1,836
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,784	△2,832
仕入債務の増減額 (△は減少)	10,074	2,382
未払金の増減額 (△は減少)	2,011	3,342
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△183	5,987
その他	4,383	1,362
小計	32,577	60,187
利息及び配当金の受取額	418	459
利息の支払額	△127	△245
法人税等の支払額	△12,045	△7,171
営業活動によるキャッシュ・フロー	20,822	53,231
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産及び投資不動産の取得による支出	△13,078	△6,679
無形固定資産の取得による支出	△12,497	△14,237
投資有価証券の取得による支出	△11,827	△1,342
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△11,095
その他	△2,887	△4,976
投資活動によるキャッシュ・フロー	△40,290	△38,331
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△538	△2,542
長期借入れによる収入	40,928	7,389
長期借入金の返済による支出	△1,281	△1,654
転換社債型新株予約権付社債の発行による収入	40,535	—
転換社債型新株予約権付社債の償還による支出	△20,000	—
配当金の支払額	△7,075	△7,581
その他	922	△806
財務活動によるキャッシュ・フロー	53,491	△5,195
現金及び現金同等物に係る換算差額	△278	△434
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	33,745	9,269
現金及び現金同等物の期首残高	168,035	201,780
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	85
現金及び現金同等物の期末残高	201,780	211,135

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(連結貸借対照表)

前連結会計年度において、有形固定資産の「その他」に含めて表示していた「土地」は、当連結会計年度において、資産の総額の100分の1を超えたため、区分掲記しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、有形固定資産の「その他」に表示していた3,977百万円は、「土地」3,505百万円、「その他」472百万円として組替えております。

(連結損益計算書)

前連結会計年度において、区分掲記していた営業外費用の「減価償却費」及び「投資有価証券評価損」は、当連結会計年度において、営業外費用の総額の100分の10以下となったため、当連結会計年度においては「その他」に含めております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、営業外費用の「減価償却費」に表示していた170百万円、「投資有価証券評価損」に表示していた115百万円は「その他」として組替えております。

前連結会計年度において、特別利益の「その他」に含めて表示していた「事業譲渡益」は、当連結会計年度において、特別利益の総額の100分の10を超えたため、区分掲記しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

また、前連結会計年度において、区分掲記していた特別利益の「関係会社株式売却益」は、当連結会計年度において、特別利益の総額の100分の10以下となったため、当連結会計年度においては「その他」に含めております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、特別利益の「その他」に表示していた470百万円は、「事業譲渡益」100百万円、「その他」370百万円として組替えたうえで、特別利益の「関係会社株式売却益」に表示していた1,000百万円は「その他」として組替えております。

前連結会計年度において、特別損失の「その他」に含めて表示していた「事業撤退損」は、当連結会計年度において、特別損失の総額の100分の10を超えたため、区分掲記しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

また、前連結会計年度において、区分掲記していた特別損失の「支払補償損失」は、当連結会計年度において、特別損失の総額の100分の10以下となったため、当連結会計年度においては「その他」に含めております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、特別損失の「その他」に表示していた1,772百万円は、「事業撤退損」55百万円、「その他」1,716百万円として組替えたうえで、特別損失の「支払補償損失」に表示していた628百万円は「その他」として組替えております。

(連結キャッシュ・フロー計算書)

前連結会計年度において、営業活動によるキャッシュ・フローの「その他」に含めて表示していた「事業撤退損」及び「未払消費税等の増減額(△は減少)」は、当連結会計年度において、重要性が増したため、区分掲記しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

また、前連結会計年度において、区分掲記していた営業活動によるキャッシュ・フローの「前払費用の増減額(△は増加)」は、当連結会計年度において、重要性が乏しくなったため、「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、営業活動によるキャッシュ・フローの「その他」に表示していた6,434百万円は、「事業撤退損」55百万円、「未払消費税等の増減額(△は減少)」△183百万円、「その他」6,561百万円として組替えたうえで、営業活動によるキャッシュ・フローの「前払費用の増減額(△は増加)」に表示していた△2,178百万円は、「その他」として組替えております。

前連結会計年度において、財務活動によるキャッシュ・フローの「その他」に含めて表示していた「短期借入金の純増減額(△は減少)」及び「長期借入金の返済による支出」は、当連結会計年度において、重要性が増したため、区分掲記しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、財務活動によるキャッシュ・フローの「その他」に表示していた△896百万円は、「短期借入金の純増減額(△は減少)」△538百万円、「長期借入金の返済による支出」△1,281百万円、「その他」922百万円として組替えております。

(連結損益計算書関係)

※ 特別損失のその他には、次のものを含んでおります。

	前連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
ポイント関連損失	一百万円	2,148百万円
支払補償損失	628百万円	4百万円
投資有価証券評価損	79百万円	294百万円
その他	1,636百万円	1,156百万円

(セグメント情報等)

a. セグメント情報

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、商品・サービス別の事業本部及び子会社を置き、各事業本部及び子会社は、サービスの向上と売上及び利益の拡大を目指し、国内外で事業活動を展開しております。

したがって、当社は、事業本部及び子会社を基礎としたサービス別のセグメントから構成されており、「メディア事業」、「インターネット広告事業」、「ゲーム事業」、「投資育成事業」、「その他事業」の5つを報告セグメントとしております。

各セグメントに属するサービスの内容は、以下のとおりであります。

報告セグメント	属するサービスの内容
メディア事業	ABEMA、WINTICKET等
インターネット広告事業	広告事業、AI事業等
ゲーム事業	スマートフォン向けゲーム事業等
投資育成事業	ベンチャーキャピタル事業等
その他事業	クラウドファンディング運営事業等

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報並びに収益の分解情報
前連結会計年度(自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	連結財務諸表 計上額
	メディア	インター ネット広告	ゲーム	投資育成	その他	計		
売上高								
顧客との契約から生じる 収益(注2)	132,384	381,206	178,618	3,198	24,799	720,207	—	720,207
(1)外部顧客への売上高	132,384	381,206	178,618	3,198	24,799	720,207	—	720,207
(2)セグメント間の内部売上 高又は振替高	8,779	24,166	501	—	4,177	37,624	△37,624	—
計	141,163	405,373	179,119	3,198	28,976	757,831	△37,624	720,207
セグメント利益又は損失 (△)	△11,523	18,317	22,708	1,840	358	31,699	△7,142	24,557

- (注) 1.セグメント利益の調整額△7,142百万円は全社費用等であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2.顧客との契約から生じる収益以外の収益の額については重要性がないことから、顧客との契約から生じる収益と区分して表示しておりません。

当連結会計年度(自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	連結財務諸表 計上額
	メディア	インター ネット広告	ゲーム	投資育成	その他	計		
売上高								
顧客との契約から生じる 収益(注2)	160,555	414,781	195,648	6,342	25,668	802,996	—	802,996
(1)外部顧客への売上高	160,555	414,781	195,648	6,342	25,668	802,996	—	802,996
(2)セグメント間の内部売上 高又は振替高	10,293	21,590	337	—	5,266	37,487	△37,487	—
計	170,849	436,372	195,985	6,342	30,934	840,484	△37,487	802,996
セグメント利益又は損失 (△)	△1,927	22,217	30,569	426	478	51,764	△9,921	41,843

- (注) 1.セグメント利益の調整額△9,921百万円は全社費用等であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2.顧客との契約から生じる収益以外の収益の額については重要性がないことから、顧客との契約から生じる収益と区分して表示しておりません。

b. 関連情報

前連結会計年度（自 2022年10月1日 至 2023年9月30日）

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2023年10月1日 至 2024年9月30日）

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%を占める相手先がないため、記載を省略しております。

c. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

前連結会計年度（自 2022年10月1日 至 2023年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント						全社・消去	合計
	メディア	インター ネット広告	ゲーム	投資育成	その他	計		
減損損失	157	261	942	—	81	1,444	9	1,453

当連結会計年度（自 2023年10月1日 至 2024年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント						全社・消去	合計
	メディア	インター ネット広告	ゲーム	投資育成	その他	計		
減損損失	123	278	5,102	—	87	5,592	10	5,602

d. 報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

前連結会計年度（自 2022年10月1日 至 2023年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント						全社・消去	合計
	メディア	インター ネット広告	ゲーム	投資育成	その他	計		
当期償却額	53	—	59	—	234	348	—	348
当期末残高	2,733	—	209	—	4,140	7,084	—	7,084

当連結会計年度（自 2023年10月1日 至 2024年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント						全社・消去	合計
	メディア	インター ネット広告	ゲーム	投資育成	その他	計		
当期償却額	150	—	59	—	234	445	—	445
当期末残高	10,722	—	149	—	3,906	14,778	—	14,778

e. 報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報

前連結会計年度（自 2022年10月1日 至 2023年9月30日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2023年10月1日 至 2024年9月30日）

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
1株当たり純資産額	285円31銭	314円73銭
1株当たり当期純利益	10円53銭	32円09銭
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	9円60銭	29円48銭

(注) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	5,332	16,246
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	5,332	16,246
普通株式の期中平均株式数(株)	506,048,563	506,261,873
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する 当期純利益調整額(百万円)	△110	△93
(うち受取利息(税額相当額控除後)(百万円))	(△97)	(△89)
(うち子会社及び関連会社の発行する潜在株式による調整額(百万円))	(△13)	(△4)
普通株式増加数(株)	37,578,241	41,520,169
(うち転換社債型新株予約権付社債(株))	(35,893,905)	(39,311,745)
(うち新株予約権(株))	(1,684,336)	(2,208,424)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。